



2019年10月21日

各位

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス
 代表者 取締役社長 神原 忠明
 (コード番号 4761)
 問合せ先責任者 経営企画部長 高岸 浩司
 (TEL 078-391-6571)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年7月30日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,300	90	120	100	8.92
今回修正予想(B)	11,058	404	449	345	30.84
増減額(B-A)	758	314	329	245	
増減率(%)	7.4	350.0	275.0	245.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	9,590	△29	1	△4	△0.42

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	610	660	460	41.07
今回修正予想(B)	23,000	610	660	480	42.85
増減額(B-A)	—	—	—	20	
増減率(%)	—	—	—	4.3	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	21,945	522	596	384	34.28

修正の理由

(1) 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想について

売上高につきましては、金融関連部門及び公共関連部門が計画比で若干未達となったものの、産業関連部門において、顧客の情報化投資が増加基調にあることに加え、消費税率引上げに伴うシステム機器販売案件の前倒しや消費税軽減税率制度対応案件の想定以上の増加など、一時的な要因により計画比で大幅過達となったことから、前回発表予想を上回る見込みであります。

損益面につきましても、増収効果に加えて、高採算案件の獲得や要員稼働が堅調に推移したことなどにより原価率が改善したことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を大幅に上回る見込みであります。

(2) 2020年3月期通期連結業績予想について

売上高につきましては、一般民需分野における情報化投資が堅調に推移しており、産業関連部門が引き続き好調を維持する見込みですが、消費税率引上げに伴う一時的な増加要因が解消することに加え、足下の商談材料の状況を踏まえると金融関連部門及び公共関連部門は厳しい状況にあるため、前回発表予想を据え置いております。

損益面につきましても、営業利益及び経常利益は前回発表予想を据え置いておりますが、親会社株主に帰属する当期純利益は第2四半期(累計)の見込みを踏まえ、前回発表予想を上方修正しております。

(3) 配当について

1株当たり配当金につきましては、今回の業績予想の修正による変更はなく、当初の計画のとおり、中間配当金6円、期末配当金6円とし、年間配当金は12円を予定しております。

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上